

本調査研究はモーターボート競走公益資金
による財団法人船振興会の補助金を受けて
実施したものです。

鹿児島県下の主要港湾における
国際航路開設のための調査研究
— 報告書 —

平成 5 年 3 月

財団法人 九州海運振興センター

はしがき

本報告書は、当センターが財団法人日本船舶振興会の平成3年度から2ヵ年にわたる補助事業として実施した「鹿児島県下の主要港湾における国際航路開設のための調査研究」の研究成果を最終報告の形でとりまとめたものであります。

鹿児島県は、九州南部に位置する地理的特性からアジア地域を中心として活発な交流を進め、アジア太平洋諸国との交流拠点となることが期待されております。

現在、わが国の海上貨物輸送においては、外貿定期船貨物のコンテナ化率が80%を越えるなど、コンテナ貨物が主流となっており、また旅客輸送においては、大型クルーズ客船が次々と就航し、本格的なクルーズ時代を迎えようとしています。

こうした状況の中で、鹿児島県下の重要港湾である鹿児島港、志布志港、川内港が対アジア海上輸送網の拠点として発展して行くためには、総合的な外貿コンテナターミナルとして、またクルーズ客船の寄港地としての諸条件を整備していくことが望まれます。

昨年度中間報告では、株式会社三和総合研究所に調査を委託し、外貿コンテナ輸送基地の形成と外貿定期コンテナ航路の開設のための諸条件を明らかにしました。

そこで、本年度は、これを円滑に進めるため、南九州の荷主企業へのアンケート調査および物流業者へのインタビュー調査を行ない、コンテナターミナルを核とした「国際物流センター」の設置について検討しました。

次に、旅客輸送に焦点を当て、クルージング市場の現状、船社および観光企業の意向からクルーズ船寄港のための条件を抽出し、県下主要港湾の現状に鑑み、鹿児島県におけるクルージングの展開方向を提案しております。

さらに、貨物・旅客両面における海上輸送の将来を展望した上で、本調査研究のまとめとして、鹿児島県下の主要港湾を基点とした対アジア海上輸送網の形成の可能性と、その実現化に向けた課題・問題点を明らかにしました。この報告書が関係者の方々にいささかなりともご参考になれば幸いに存じます。

おわりになりましたが、本調査研究をとりまとめるにあたって終始ご指導、ご協力を頂きました鹿児島大学法文学部松本讓教授をはじめ委員各位、関係官公庁並びに調査にご協力頂きました関係の方々に、改めてお礼を申し上げます。

平成5年3月

財団法人 九州海運振興センター
会長 邑本義一

「鹿児島県下の主要港湾における国際航路開設のための調査研究」

委員名簿

(順不同敬称略)

委員長	松本	讓	鹿児島大学法文学部教授
委員	堀川	洋	第四港湾建設局企画課長
〃	長谷川	伸一	鹿児島県企画部交通政策課長
〃	上齒	晃	〃 土木部港湾課長
〃	田中	憲一	鹿児島市都市計画部長
〃	岩切	秀雄	川内市企画財政部長
〃	重信	正勝	志布志町助役
〃	福岡	昌躬	日本郵船(株)九州支店長
〃	(田納)	郁也)	
〃	船越	寛三	三井物産(株)九州支社運輸部長
〃	有馬	雄之助	鹿児島港運協会会長
〃	崎岡	洋右	日本貿易振興会
〃			鹿児島貿易情報センター所長
幹事	惟村	正弘	九州運輸局企画部長
〃	西川	勝徹	〃 鹿児島海運支局長
事務局	三宅		〃 企画部貨物流通企画課長
集計解析	肥田	幹也	(財)九州海運振興センター調査役
〃	長澤	宏	(株)三和総合研究所副主任研究員
〃	柄谷	昌秀	〃 研究員
〃	原田	昌彦	〃 研究員
〃	土屋	誠之	〃 研究員

※ 括弧内は前任者名



目 次



序 章	調査の概要	1
	1 調査の背景と目的	
	2 調査の項目と内容	
	3 調査の対象	
	4 調査方法	
	5 調査のフロー	
第 1 章	鹿児島県における国際物流センターの展開	9
	1 鹿児島国際物流センターの目指す方向性	
	2 鹿児島国際物流センターの理想像	
	3 鹿児島国際物流センターの設置について	
第 2 章	クルージング市場の実態把握	75
	1 観光・レジャーの動向とクルージングへの関心	
	2 クルージングビジネスの実態	
第 3 章	クルーズ船寄港のための条件抽出	97
	1 大型クルーズ客船寄港のための条件	
	2 クルーズフェリー就航の条件	
	3 デイクルーズ就航の条件	
	4 総括	
第 4 章	鹿児島県下の主要 3 港湾及び港湾背後圏の実態把握	105
	1 主要 3 港湾を取り巻く周辺環境の概観	
	2 対象 3 港湾の港湾施設・機能と背後圏のポテンシャル	
第 5 章	鹿児島県におけるクルージングの展開	135
	1 大型クルーズ客船の寄港	
	2 クルーズフェリーの展開	
	3 デイクルーズの展開	
	4 鹿児島県におけるクルージングの展開	
第 6 章	海上輸送の将来展望	145
	1 対アジアコンテナ定期船市場の将来展望	
	2 クルージング市場の将来展望	

第7章	鹿児島県下の主要港湾を基点とした対アジア海上輸送網の形成の可能性	173
1	対アジアコンテナ定期船市場の将来展望を踏まえた海上輸送網の形成の可能性	
2	クルージング市場の将来展望を踏まえた海上輸送網の形成の可能性	
3	鹿児島県下の主要3港湾の将来展開	
4	実現化に向けた課題・問題点の抽出と望まれる方策	

詳細は当センターへお問合せ下さい

(財)九州運輸振興センター

電話 : 092-451-0469

e-mail : info@kyushu-transport.or.jp